

つなぐ

2010.10
第3号

ひとつなぎの宝物を、
－ ワンピース －



「伝統」を守り つなぐ

このかわうち
～ 木之川内小学校（山田町）～

山田町瀬茅地区に伝わる文化芸能「俵踊り」。保存会の方々の指導を受け、この俵踊りを継承しているのが木之川内小の5・6年生。三味線や太鼓などの音に合わせて俵を担ぎ、次々に投げ渡し、積み上げ、豊作に感謝し祝う様子を元気よく表現している踊りです。

編集・発行／都城市 PTA 連絡協議会

都城市姫城町7街区8号 TEL.0986-24-5312 FAX.0986-24-2812 E-mail:mmpta@bz03.plala.or.jp

特集

座談会



いま 子どもたちは
何を 感じているのでしょうか？
そして その 子どもを守る親は
何を 願っているのでしょうか。

今回は、市内の小・中学生と親に呼びかけ、それぞれが今感じている生の声を紹介します。

「子から親へ、親から子へ、つなぐ」

都城市PTA連絡協議会会長 高木 かおる

子どもと向き合おうと、子どもを通して、いろんな「つながり」が見えてくる。今まで見えなかった「つながり」が見えてくる。考えてみると、人は人とつながって

いくことで、ぬくもりが生まれてくる。生まれたぬくもりは、また人と人のつながりを強く強くしていく。

子どもが親を殺してしまう。親が子どもを虐待してしまう。悲しいニュースが耳目される度に思うのです。こんな時代だからこそ、もう一度人と人の「つながり」を見つめ直したいと…。ぬくもりのあるつながりの輪のまんなかに子どもがいられる時、

子どもたちはきっと大切にされている自分に気がつくでしょう。大切にされている自分だからこそ、自分の人生を大切に歩んで行こうと思うでしょう。

子どもの心が見えない。そんな大人のつばやきを耳にします。では、子どもの方からすれば、大人の心（＝思い）は見えているのでしょうか？きつと子どもたちも、大人の心が見えにくくなっているのではないのでしょうか…。

今回の「つなぐ」では、子どもたちの声に耳を澄ませてみました。大人たちの声にも耳を傾けてみました。澄ませた耳に残る思いをつないでみたいから…。

特集 座談会

小学生 から

親へ

ありがとう

- 私たちのために必死で働いてくれてありがとう。
- 言葉に出して言えないけど「ありがとう」の気持ちを親に伝えたい！
- 一生けんめい働いてくれるし、いろいろしてくれるからありがたい。
- あちこち連れて行ってってくれてありがとう。

いやなこと

- お父さんが飲み会から帰ってきて、ちよっかきを出すのがいや。
- 家で飲み会をする時、「タバコ」を吸うと、くそくなるからいや。
- 悪いところばかり見ていて、良いところをほめてくれない。
- 「お金は大事に使いなさい」と言うけれど、親も無駄なものを買っているとと思う。
- 勉強中トイレに行くと、「言い訳だ」と言われるのがいや。
- ほしい物を買いたいから、おこづかいが欲しいけど、くれない。買いたいものを言うと、おこづかいを貯めて買いなさいと矛盾したことを言う。

悩み（親へ）

- 悩みがないわけではないけど、心配かけたくないで、親には言わない。
- 勉強しなくても、ちゃんとしていていっているのに、「勉強しなさい」と言われたり、友だちの家で宿題をしてから遊んでいるのに、「宿題しなさい」と言われたりしたくない。
- 親は、仕事が休みの日には、昼前まで寝ているのに、夏休みでゆっくり寝ていたくてもさせてくれない。
- 親自身ができないことを「やれ」と言わないでほしい。

悩み（友達へ）

- 学校で、一部の子がこそこそ話をしている、自分のことじゃないかもしれないけど、いやな気持ちになる。
- 交換ノートとかに、友だちが自分の悪口を書いているのでは？と疑ってしまうことがある。
- 休み時間に男子同士でケンカをしない。
- 女子が悪口を言ったり、暴力をふるうのでやめてほしい。
- 男子に「ババア」と言われてむかついたので「ジジイ」と言い返した。

ぼく・わたしの
ゆめ

いま、小学生は
どんな夢を思い描いて
いるのでしょうか？



ケーキ作りが
好きなので、
パティシエになりたい！
(きらり)

看護師になりたい。
(ななみ)

美容師になりたい！
(あいり)

機械関係の
学校へ行き、
さらに大学で
機械のことを
詳しく学びたい
(りゅうのすけ)

勉強をがんばって、
京ヶ丘の附属中へ行き、
薬科大に行って、
薬剤師になりたい。
(かずひさ)

試合に負ける原因は
「やる気」なので、
そこを直して試合に勝ち、
NBAのプロバスの
選手になりたい。
(あゆむ)

今、親が髪を
切ってくれているが、
下手なので、
自分が美容師になって
親の髪を切って
あげたい。(のりか)

バスケットで県大会に
出場したい！
将来はプロの選手に
なりたい。(まさき)

座談会

中学生から

親へ

ありがとう

- 母は、毎日仕事帰りに学校と陸上競技場間の送迎をしてくれ、私が部活をしている間に夕食の準備をしてくれていた。今まで、直接「ありがとう」と言えなかったから、この機会に感謝の気持ちを伝えたい。
- 「勉強しろ、勉強しろ」と、口うるさく言うのは、自分のことを考えて言ってくれているんだと思う。
- 将来、いい職業に就くためにも、勉強しないとイケないし、塾にも行かせてもらっているのです、しっかりとしないとイケないと思う。
- 一人になりたい時は、うざいと思うが、病気の時など、看病してくれるので、親には感謝している。

いやなこと

- お父さん、お母さん、じいちゃん、ばあちゃんにグチグチ言われてうるさい。やっていけるのに言われるから、余計にいやになる。
- 親は他の人と比べると、友だちが持っているものと同じものが欲しいとお願いとすると、「人は人」とごまかされ、矛盾を感じる時がある。
- 部屋に入って、中のあるものを触ってほしくない。ちゃんと自分の置く順番

とか決まっているから。

- 「風呂に入れ」「早く寝ろ」などと、いちいちうるさいと感じる時がある。
- ゲームの後ちゃんと勉強しようと思っているのに、「勉強しなさい」と言われると反抗したくなる。
- 親はテレビを見ながらパソコンをしているのに、子どもにはテレビを見ながら勉強すると言っている。人には言えないじゃないかと思う。

悩み(親へ)

- 三人兄弟の自分はまん中。姉は高校生で勉強ばかりで、弟は頼りないから自分には頼みごとをしてくる。弟にも頼めばいいのに……。
- 父と母が喧嘩をした時、大丈夫なんだろうかと心配になる。喧嘩の後のイライラを母が自分にぶつけてくるので、それはやめてほしい。
- じいちゃんとはあちゃんが、自分を呼ぶ時、お父さんやお兄ちゃんの名前と間違ったり、お父さんやお兄ちゃんの名前を言うから、最後に自分の名前を言ったりする。僕の名前を忘れていのかな～と思う時がある。

悩み(学校)

- 部活や生徒会の中での人間関係は厳しい……

私たちの未来の

ゆめ

中学生は、
近い将来の自分のことを
どう考えているのでしょうか？



自分の子どもが
不意とかに
ならないよう、
自分の親のような
子どもの育て方がしたい。
(こうすけ)

介護の仕事か、
看護師の
仕事がしたい!
(ななみ)

パティシエになりたい!
本場フランスに
留学して学び、
帰国して日本で
お店を開きたい!
(さやか)

ブライダルプランナーが、
ディズニーが好きなので
それに関わる
仕事がしたい。
(さゆか)

まだ、はっきりとした
夢は見つからない。
(まつし)

音楽が好きで、
ピアノを習っています。
歌うことも好きなので、
音楽関係の仕事がしたい。
好きなことだったら、
楽しい
がんばれるから……。
(ゆか)

親が二人とも
教師なので、
教師になりたい。
(ゆうたろう)

自分の夢は
漫画家になること。
自分のしたいことを
仕事にするのが
一番いいと思うので、
会社員として働きながら、
漫画を描いて投稿し、
漫画家として芽がでるか
試してみたい。
(ひであき)

特集 座談会

いま、子どもさんとの関係は？

○仕事で遅く帰宅するためか、どうしても母親に何でも言っているが、肝心な所では、自分を頼ってくれているので、つり合いがとれていい関係かなと思う。(父親)

○何か問題がおこつてから悩むようでは手遅れなのではないかと思う。

○「今忙しいからちよつと待ってー」は禁物だという話をよく聞か、とても大切な事だと感じる。忙しくて手を止めて話をじっくり聞いてあげることが大事だと思う。(母親)

○共働きなので、子どもの事はほとんど母親まかせ。子どもは自分の前では、「良い子」にしているのが、厳しく手を上げたりする事はないが、「我慢してるのかな」「無理してるのかな」と感じる事がある。少しは反抗する場面もあつていいのかなと感じる時もある。(父親)

○末っ子が中一になり、子どもが協力して留守番をしてくれるようになった。食事も私が準備できない時など自分たちなりに考えて作れるようになり随分楽になった。末っ子が反抗的な態度をとつても、子どもたち同士で意見しあい解決しようとして

ている姿に成長が垣間見える。

(母親)

子育てで心がけていることは？

○なるべく親の方から話かけるように努力している。また、子どもの部活の送迎を兼ねて応援に行き、共通の話題を探している。(父親)

○子どもが学校から帰ってきた時は、必ず家において「おかえり」と声をかけるようにしている。(母親)

○家事は、それぞれがサポートしながらやっていく姿を子どもに見せている。子どももすすんで手伝いをするようになった。(父親)

○最近子どもがいろいろと指摘してくるようになったが、話を良く聞いて、全てを否定せず、親が悪い時はきちんと認めて「ごめんませう」と伝えるようにしている。(母親)

○母親が子どもを叱る時は、父親は冷静に見守り、反対に父親が叱る時は、母親は冷静に心をかけている。(父親)

親から

子どもたちへ



親から
子どもたちへ

ひとつひとつ

失敗を恐れず、挑戦する
気持ちをもつて育てよう。

ものごとの善悪の判断ができ、
る子になろう。

悪い時は「ただだよ」と
言える子になろう。

「つらい時は無理して前向きに生きることはない。後ろを向いてもいいんだよ。そこからまたはじめればいいんだ。だからさっさと、いまこの時間を精一杯生きよう！」

今は学校で職場体験や見学など、進路に関する情報がたくさんあるし、経験できる環境にあるので、その経験を活かして将来の道を選択していい。

座談会を終えて

市内の小・中学生に参加を呼びかけての座談会の開催は初の試みで、子どもたちは言葉を発してくれるのかとても不安を感じていました。しかし、子どもたちは日頃感じている思いをありのまま話してくれました。素直な気持ちを聞くことができた感動の時間でした。

子どもたちの会話の中には、私自身が反省すべき内容も多く、とても有意義な時間を過ごすことができました。

また、保護者の座談会では、それぞれの家庭の親子関係や子育てに関するお話しに、共感し感動する内容も多く、とても参考になりました。

そして何より嬉しかったのは、参加した子どもから、「悩んでいたのは自分だけじゃなかったので安心した。親に感謝しなければ・・・」という言葉でした。

面と向って「ありがとう」と素直に言えなくても、子どもたちは一人ひとり感謝の気持ちをもっていました。そんな素直な子どもたちがこれからもずっと安心して生活することができるよう、私たち大人も心がけなければならぬことがあります。

子どもが、「ありがとう」「感謝しています」という気持ちをもってくれていると、親として最高ですね。

この座談会に参加してくれた、市内の小・中学生のみならずと送迎にご協力くださった保護者や先生方、またお忙しい中、座談会に参加してくださった各地区の保護者の方々、ご協力ありがとうございました。

宮崎県立 都城泉ヶ丘 高等学校附属中学校



充実した授業がたくさん!



泉ヶ丘は迫力があつた!

今年4月、県西地区初めての中高一貫教育校として開校した、宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校をご紹介します。

生徒数は40名（男子24名、女子16名）。勉強ばかりしているようなイメージを持たれがちですが、昼食後は広い運動場でサッカーをしている姿も見られますし、放課後は約9割の生徒が部活動に参加しています。高校生と同じ校舎で学び、部活動や体育大会・文化祭も高校生と一緒に活動することで、刺激を受けることが多いようです。

子どもたちは実にのびのびとしていて、表情がとても明るいです。それぞれ自分の夢に向かってがんばっています。

夢に

向かって輝く瞳



学校は楽しいよ!



部活動も頑張っています!



泉ヶ丘附属中学校は、「ふるさとみやぎへの誇りを持ち、たくましく魅力あふれる人材、ひいては次代の日本や世界を切り拓く人材の育成を目指す」という理念のもと設立されました。

「質実剛健」の校風のもと、6年間の一貫した教育を通して、ゆとりの中で生きる力を育み、一人ひとりの知性を磨き、個性を豊かにし、自立心を養います。

学校の様子

授業中



子どもたちの表情はイキイキとしていて、授業に集中している様子がうかがえます。高校の先生が教えてくださる授業もあります。

放課後



放課後は、渡り廊下に並べられた机で勉強している生徒が目立ちます。高校生の先輩が勉強を教えてくれることもあるようです。

特色ある時間

C-time



週に一回、ALTを活用した英会話中心の授業が行われます。ゲーム感覚で生きた英語を学べる、子どもたちが大好きな授業です。

SET (self education time)



6校時後の50分間は、生徒が自主的・自発的に学習に取り組む自学の時間です。わからなかったことはその日のうちに質問して理解して帰ります。

自然科学探究

南九州大学環境園芸学部の山口雅篤教授が、「植物の色の科学」についての授業をしてくださいました。子どもたちは「色の不思議」に目を輝かせて、実験・観察に夢中になっていました。



職場見学 都城市郡医師会病院

現場の医師や薬剤師、看護師の方々が丁寧に説明してくださいました。いくつかのグループに分かれて見学実習をしました。なかには手術室に入って、手術方法などの説明をうけたグループもありました。



ワクワクする体験がいっぱい!

開校記念講演会

ノーベル物理学賞 小柴昌俊氏「やればできる」という演題でした。難しい物理のお話もありましたが、一生懸命メモをとって、熱心に聞いていました。



市PTAネットワークス

深めよう！

学年・学級PTAの絆

学年委員長研修会



学年・学級委員長の役割と活動のあり方について、共通認識を深め、課題解決を図るための学習の場として、8月21日開催されました。

□ 蹄疫発生に伴い、市PTA連携協議会の本年度最初の研修会となりました。夏期休業中の開催にもかかわらず、多くの会員の参加が見られました。今回は、講師の社会教育指導員・瀬尾先生作成による新たな講話資料を基に、PTAの意義、役員の任務、活動計画案の作成に至るまで、具体例を挙げて、詳細に分かり易くご講話をいただきました。

また、分科会では、各学校の学年・学級事業の資料等も参考に活発な意見交換がなされ、有意義な研修会となりました。お互い、苦労しながら役員としてがんばっている姿が分かり、絆の深まりを感じた研修会でした。

つなげよう！

単位PTAの輪

PTA会長研修会



PTA会長として望ましい組織・運営のあり方や児童・生徒の健全育成のためにPTA活動はどうかあればよいかという観点で協議し、単位PTA活動のより一層の活性化を図る目的で、9月3日開催されました。

研修会は、小・中学校混成で4班に分かれ、自由討議の形で進められました。自校の特色ある活動や会員の積極的参加を促す工夫、多様化する価値観の中での会員相互の意思疎通を図る基本的な考え方や具体的な活動などについて話し合われました。それぞれの学校のリーダーである会長さんだけに、積極的な発言が相次ぎ、時間が足りない程熱心な意見が交わされていました。

また、研修会後の意見交換会では、飲みニケーションを通して、会長同士の輪が固くつながった雰囲気を感じられました。

単Pりしむかエッセイ

姫城地区

「子ども相撲大会」について

vol. 3

南小学校PTA会長 加藤 正博

本年度、本校と明道小では、相撲大会を開催する予定となっています。

「なぜ、相撲大会？」と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、実は南小のグラウンド東側には立派な相撲場があります。そもそも、この相撲場を造ることにした発端は、当時の校長がPTA保護者との飲み会で発言されたのがきっかけでした。それに賛同したPTA保護者・OB・地域の方々のご協力のもと、平成十七年二月に完成しました。同年八月には、柿落(かきおち)としてもかねて、幕内力士数名が来校し、「都城市相撲教室」と名づけ、相撲大会が開催されました。昨年、明道小よりご提案をいただき、両校PTAで



お知らせ!



「第52回宮崎県PTA研究大会」 えびの市・小林市・西諸県郡大会

- 期日 平成22年12月4日(土)
- 時間 13:00～16:40
- 会場 えびの市文化センター
- 内容
 - ・ 研究発表
 - ・ 講演 「子どもと睡眠」
埼玉医大総合医療センター
星野恭子 医師

「第51回都城市PTA研究大会」

- 期日 平成23年2月6日(日)
- 時間 9:25～12:30
- 会場 都城市総合文化ホール
- 内容
 - ・ 開会行事(表彰式)
 - ・ 指定研究校研究発表
 - ・ 講演

都城・旭川児童生徒ホームステイ交流を行っ
ている旭川市PTA連合会より口蹄疫義援金
をいただきました。

金額 **80,000円**

都城市総務部総務課へお届けいたしました。
ありがとうございました。(9月29日)

CALENDER

市に連かしンダー

平成22年

- 5月15日(土) 17:30～19:10
平成22年度市P連総会
- 5月22日(土) 9:30～12:00
広報担当者講習会(中止)
- 7月25日～29日
第24回都城・旭川交流
夏季交流会(次年度に延期)
- 8月21日(土) 9:20～12:00
第29回学年委員長研修会
- 9月3日(金) 18:30～20:00
PTA会長研修会
- 10月11日(月) 9:30～12:00
第36回女性会員研修会
- 11月4日(木) 18:30～20:00
市長・教育委員会との教育懇談会

平成23年

- 1月6日～10日
第24回都城・旭川交流
冬季交流会(次年度に延期)
- 2月6日(日) 9:20～12:00
第51回市PTA研究大会

○その他、
年間10回の役員・理事会

編集後記

今年度、初めて編集委員として
広報紙の発行のお手伝いが出来
ましたことに感謝します。

特集のページで分かると思いま
すが、子どもたちの鋭い意見に
驚かされました。子どもたちは
私たち保護者以上の鋭い目線
で、我々を見ているですよ……。

安田弘文

今年度も楽しい仲間と新聞作り
に関われたことに感謝!一人だ
も多くの人に読んでもらえたら
、嬉しいですよ。

山田文子

小学生・中学生との座談会を通
して、素晴らしい子どもたちと
の出会いに「感動!」感謝しま
す。

土屋裕子

編集委員の方々の熱い取り組み
が、紙面に表れていると思いま
す。今年度も広報「つなぐ」を
よろしく願います。

竹田佐代

親の思い、子供の思い、とても
いい話を聞かせていただき私自
身も勉強になりました。

中山めぐみ

今年も、引き続き編集委員をさ
せていただいています。一人だ
も多くの方に読んでいただける
よう、がんばります。

前田美保

カメラのファインダー越しに見
えるPTA会員の皆様の真剣な
まなざし、笑顔が印象的でした。
次号は、インパクトのある写真
が撮れるように工夫していきたい
と思います。

下西智洋

長いことPTA広報紙に携って
きましたが、久しぶりに悪戦苦
闘しました。この「つなぐ」の
記事のひとつが、何かあった時
にでも「ふっ!」と思いついて
いただけたら幸いです。

鶴田智子

編集会議がとても楽しいです!
皆さんに喜んでいただける新聞
をお届けできるようにがんばり
ます。

吉永文子